



和寒町が **元気** になる  
 取り組みを **応援** します

**わっさむ農村  
 元気づくり  
 支援事業**

町では、昨年から住民自らが活力ある農村を構築するために取り組み地域づくりや地域が元気になる活動に対し支援する「わっさむ農村元気づくり支援事業」を実施しています。

ぜひ、わっさむが元気になる取り組みを企画して支援事業を活用してください。

●事業の内容

事業の実施主体	本町に住所を有する3名以上からなる事業者・団体・グループ（規則・会則等の定めがあること）
対象となる事業	事業の実施主体が主体的に企画し、取り組む次の事業で、活動の継続が期待されるもの。ただし、国や道、団体等の補助対象となる事業は除きます。 1. 地域資源を活用した特産品の開発事業 2. 和寒町の情報発信・宣伝事業 3. 地産地消を推進する消費拡大・食育推進事業
対象となる経費	対象経費は事業の実施に要する経費で原則30万円を限度とし、必要かつ適当と認める経費。ただし、次の経費は除きます。 (1) 施設等の建設や整備に要する費用 (2) 備品等で1点あたり3万円以上となるもの (3) 事業実施団体の内部の者に対する賃金や報償費等 (4) 事業実施を伴わない調査 (5) 自治会内の交流等親睦会的なイベント
支援の額	必要かつ適当と認める額
事業の手続き	あらかじめ事業計画を提出し、承認を受けていただきます。事業終了後は報告書を提出していただきます。

## 昨年の元気づくり支援事業を活用した主な事業の紹介

### ① 和寒町農産物PR事業

ホテルオークラ札幌のレストランで道内各地の食材を利用したフェアが開催され、和寒町の夏野菜を使用した「和寒フェア」にわっさむ恵みの市運営委員会の新鮮な夏野菜を提供するとともに和寒町と農産物のPRが行なわれました。



▲ホテルオークラ札幌で利用された夏野菜

効果

和寒町の新鮮な夏野菜を札幌のホテルでPRし、和寒町を多くの方々に知っていただく有意義な機会となりました。



▲カボチャの収穫体験

### ② わっさむ町カボチャ収穫ツアー

札幌のFM三角山放送局と和寒町グリーンツーリズムネットワーク協議会が協力し、日本一の作付面積を誇る南瓜の収穫体験等を通し、和寒町の特産品である南瓜のPRが行われました。

効果

札幌市から28名が参加し、参加者からは「農作業が楽しい」といった声も聞かれ、収穫の楽しさや和寒町のPR、食育推進へとつながりました。

### ③ わっさむ情報文化発信事業

和寒町の特産品・各種イベント等のPR番組等を企画制作し、インターネットなどで国内外へ情報を発信することで、地域の活性化に結び付けていく取り組みが行なわれています。

効果

和寒町の各種イベント等の情報を発信するホームページを開設し、約2万人ものアクセスがあり、ITを通しての地域の活性化が図られるものとなりました。



▲さまざまな情報を発信する「わっさむ.net」